



～ 「^{どめ}2度目の^{きんきゅうじたいせんげん}緊急事態宣言^うを受け」 ～

りじちよう おくやまはづき
理事長 奥山葉月

2度目の緊急事態宣言が出されました。当たり前ですが、緊急事態宣言下でも障害者は生活し、働いている方もいます。そのために必要な支援を止めるわけにはいかない。でも感染するとその方の生命、また、ご家族、そこからの感染の危険も心配されるため、判断することに苦慮しています。法人内でも各部責任者と検討しながら、感染対策、事業継続をしています。

コロナ感染が疑われた場合でも、単身生活されている方へのケース、ご家族と同居されている方のケース、また、ご家族が高齢、疾患がある方のケース、介助や支援がどれくらい必要か？通常のサービス利用状況はどれくらいか？職員のケース、どこまで事業を止めなくてはいけないのかなど、想定されるケースは多様で、さまざまケースを想定して、情報収集、他機関との連携を行っていくことが重要と考え、取り組んでいます。

また、この間、利用者、ご家族の方々に変更やお願いすることもありました。できるだけ、混乱を招かないよう、早めの説明、個別での説明、書面と口頭で重ねて説明を行っています。しかし、「不要不急」「生活に必要な買い物」をどう説明するべきか、また「20時までに帰ればいいんでしょ？」「マスクして、人と離れていれば、でかけてもいいでしょ？」との質問にどう回答すればいいのか。説明や、やり取りを繰り返し、最終的にはお願いするしかないということもありました。

通信を通して、再度、ご自身、ご家族、大切な人の命を守るため、また、現在、行っている事業を休まず、ご利用いただくために感染予防にご理解、ご協力をお願いします。

福祉ホットライン《障害者地域自立生活支援センター事業》

今回は先月12月1日(月)～6日(日)まで開催した「立川市障害者週間イベント」について、ご報告させていただきます。

「障害者週間」とは、「国民の間に広く障害者の福祉についての関心と理解を深めるとともに、障害者が社会、経済、文化、その他あらゆる分野の活動に積極的に参加する意欲を高める」ことを目的としています。

立川市でも、実行委員を市内の福祉関係団体や支援機関から募り、その年のテーマに沿って様々なイベントを行ってきました。今年度のテーマは「防災」と決まりましたが、コロナの影響もあり、実行委員会を十分に開催できず、規模を縮小して開催することとなりました。

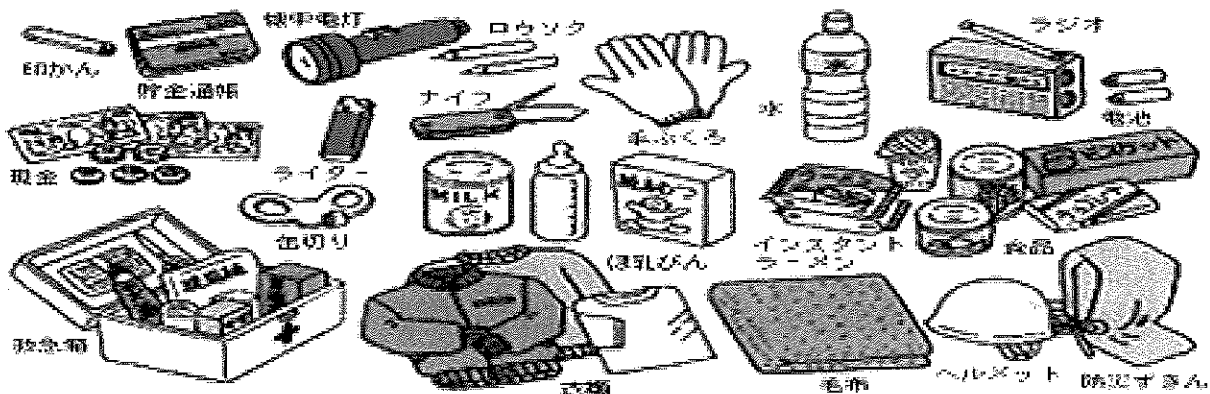
市内小学4年生が書いた「障害者週間」をテーマとした絵、福祉団体・支援機関紹介パネル、防災グッズなど展示会では、小学生の絵を見に来場されたご家族の姿が多くありました。また、開催期間中3回行った「福祉作業所作品販売会」は、いずれも大盛況で、特に昼時ということもありパンやサンドイッチはいずれも完売となりました。

今年度のテーマ「防災」ということから、映画上映会では東日本大震災時の障害者の状況と支援者の活動を描く映画「星に語りて～Starry Sky～」を上映しました。ソーシャルディスタンスを守るため、90名定員の会議室を30名までと定員を設け、2日間、午前、午後の計4回上映することとなりました。最終回では、松本監督のトークショーを設け、制作のお話や会場からの質問にお答えいただきました。最後に松本監督が「普段は映画を作る時、エキストラで車いすの人がいた場合、目立たない位置に移動してもらおうことがほとんどでした。それは見ている人が、何か意味があるのでは?と考えるしまうからです。僕はこの映画をきっかけに、障害がある人も当たり前にいる存在なのだから、今後は気にしないで撮影しようと思っっている」とお話しされ、その言葉がとても印象的でした。

今年度、展示会来場者は567名と多くの方に足を運んでいただき、アンケートでは「コロナ渦の中、どのイベントも中止になってしまった。このイベントを開催してくれて大変だったと思いますが良かったです。」と言うコメントを多くいただきました。

来年度はコロナの心配なく、直接、障害のある人とない人がつながりあえる障害者週間が開催できることを祈っています。

(つるそのまこと)
(鶴園 誠)



たちかわししょうがいしゃしゅうろうしえん
立川市障害者就労支援センター はたらこ

◆ **職場紹介 PART 23** -株式会社NTSロジ 府中事業所-

今回の訪問先はJ R 谷保駅からバスで15分のところにある株式会社NTSロジ府中事業所です。様々な商品を扱う物流会社で、府中事業所はチルド商品を扱っています。

ここで2014年12月より飯塚貴大さんが、9時から15時、週5日働いています。主な業務は、店舗に商品を配送するドライバーさんが持ち帰ったプラスチックの容器を洗浄して片付けることや、段ボールに入った商品をカゴに詰める作業です。力仕事もしっかりこなしています。

パートの方と3名のチームで、指示を受けながら、一緒に働いています。時には、思うようにいかず、落ち着きがなくなり、大声を出してしまうこともありますが、一緒に仕事をされている方は、できるだけ飯塚さんが混乱しないよう関わってくださっています。

会社からは、遅刻やお休みがないこと、決められたことは自分から取り組めることを評価されています。コロナ禍では、職種によっては様々な影響がありますが、物流は緊急事態宣言が出ているなかでも動いているため、飯塚さんも休みなく働いています。

現在、49歳になる飯塚さんは、2019年の10月にグループホームで生活を始めて約1年が経過しました。そのきっかけとなったのは、会社から、急に痩せてきたことや服の臭いが気になるという連絡を頂いたことです。それまでご両親と一緒に暮らしていましたが、ご両親とも高齢のため、飯塚さんの生活のサポートは難しい状況になりつつあると判断をして、地域包括支援センターに、介護保険のサービスを利用されていなかったご両親の支援をお願いしました。当センターでは、飯塚さんの安定した生活に向けて、グループホームの見学や手続き等の支援を行いました。会社から連絡を頂いてから、およそ1年をかけて親子それぞれの生活の場を整理することになりました。

一人でいることが好きな飯塚さんなので、グループホームでの生活に馴染めるか心配もありましたが、グループホームの丁寧な支援のおかげで、生活環境が変わっても安定して就労を続けることができました。

飯塚さんは、ご自分で困っていることを相談することが苦手なため、グループホームの職員さんと、飯塚さんの意見を聞いて考えて、より良い生活ができるように連携しています。

ご両親は最近、体調が悪くなられているということも聞いており、生活が大きく乱れる前に、グループホームに生活の場を移す最後のタイミングではなかったかと感じています。日常の変化を逃さず、支援機関にお伝え頂いたことで、飯塚さんの生活の支援だけでなく、ご家族への適切な支援にも繋ぐことのできた例でした。

飯塚さんは、長くこの会社で働きたいという希望があります。引き続き、生活面ではグループホームとも協力して、飯塚さんが健康で豊かな職業生活を送れるよう支援していきたいと思っています。

(川崎太郎)



洗浄したパットを運ぶ

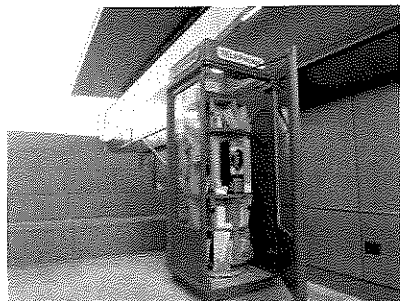
じりつせいかつぶ
自立生活部

じぎょうほうこく
事業報告

■新企画！おすすめスポット通信取材

協力員の活動として行ってきた「おすすめスポット」ですが、これまでは自立生活センター・立川のホームページにて情報を掲載してきました。今年度はインターネットを通じての方法だけではなく、より広く皆さまへ情報を発信していきたいという思いから、こちらの通信にもおすすめスポットを紹介させて頂きたいと思えます。

第一段は、立川の新しいおすすめスポット「グリーンスプリングス」を紹介していきたいと思えます。



「グリーンスプリングス」は立川駅北口より徒歩8分、多摩モノ

レール沿いのサンサンロードを歩いていくと左手に見えてきます。「空と大地と人がつながる、ウェルビーイングタウン（心地よい街）」をテーマに、2020年4月にオープンした大型複合施設です。施設内は誰もが利用しやすく作られており、

各所にエレベーターや多目的トイレ、車いすユーザーの方でもゆったりと歩ける通路、視覚障害のある方に配慮した点字ブロックやエレベーターの音声案内があります。



またバリアフリー面だけではなく、ちょっとした遊び心もあります。例えば、東西に設置された公衆電話のアート作品は実際に通話し合うことができ、電話ボックス内にある本は誰もが自由に読める図書となっています。

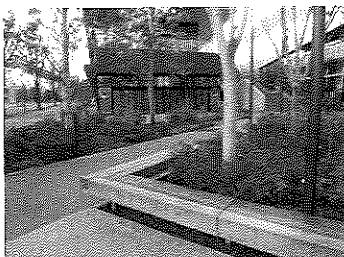
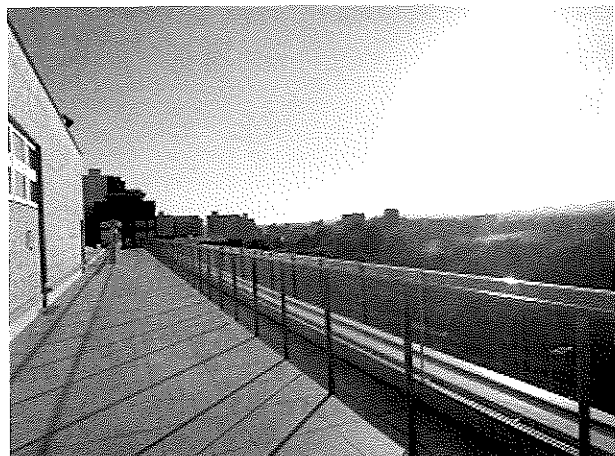
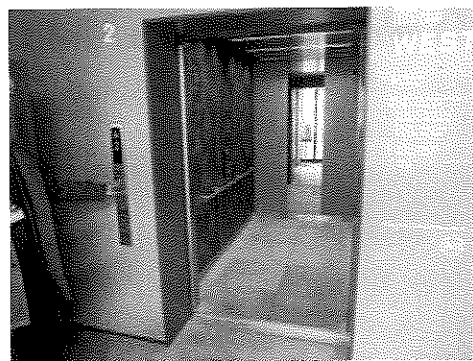
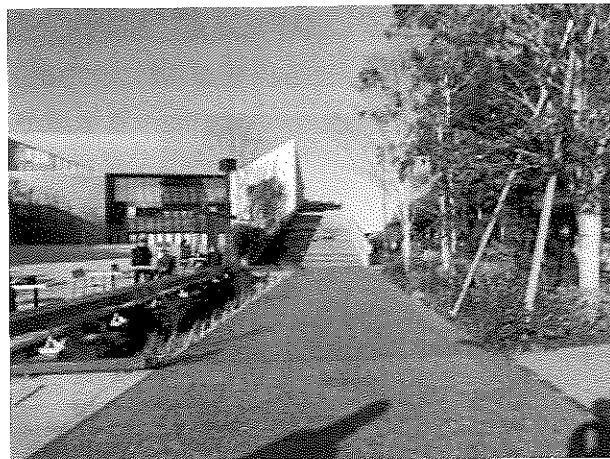
さらに2階デッキ通路から中央奥にある階段状の滝（カスケード）は、かつてこの地にあった飛行場の「滑走路」をモチーフとしていたり、階段は飛行機が飛び立つ角度をイメージして作られています。

階段状の滝（カスケード）の上には、車いすの方でも「立川ステージガーデン（大ホール）」のエレベーターから行けるようになっています。

ゆったり休めるベンチも数多く、また商業施設も30以上のテナントが入っており、見どころが多く開放的なスペースが広がっています。

今後は、協力員とともに同施設内にある「立川ステージガーデン（大ホール）」や「ソラノホテル」へと、踏み込んだ取材を行い、さらに詳しく情報を掲載していく予定です。ご期待ください。

（大石 幸治、櫻井 未来）



■視覚障害者交流会 (10月24日)

昨年度に引き続き2度目となる視覚障害者交流会を開催しました。
今回の交流会は、新型コロナウイルス感染症対策の観点から、Web会議ツールのZoomを利用したオンラインでの開催とし、自立生活センター・立川と関わりのある4名の視覚障害当事者の方にご参加いただきました。また、今回は、新型コロナウイルスの影響による生活の変化を会の主なテーマとし、このコロナ禍における過ごし方、困りごと、工夫や楽しみなどについて語り合いました。

参加者からは、ヘルパー利用や外出に関する困りごとの話題が多くあがりました。他方で、テレビを見たり散歩や買い物などをしたりして楽しんでいるというお話もあり、困難を感じながらも、それぞれに楽しみを見つけつつ工夫して生活されている様子が見え、うかがえました。

会の最後には、「同じ障害のある仲間と話せてよかった」、「同じように困っている人がいることがわかり、ひとりじゃないんだと思えた」などの感想もいただき、コロナ禍の厳しい状況の中ではありませんでしたが、こんな時だからこそ今年度もこのような会を開催することができて本当によかったと強く感じました。

また、その一方で、オンラインという形式であることで今回の会への参加を断念された方もいらっしゃったことから、開催方法についての課題も感じました。多くの方に少しでも安心して気軽にご参加いただけるような形を検討しながら、来年度以降も引き続き開催していければと思います。

(櫻井 未来)

■ランチタイム 新年ごあいさつ会 (1月2日)

コロナの感染者が増加するなか、開催に際して、心配もありましたが、感染対策を行い、時間も短め、初詣なしとして、開催することとしました。

いつもはオープンスペースでお雑煮を調理、盛り付け、食べながら、歓談というスタイルですが、今年は調理と盛り付けスペース、食事スペースは3か所に分かれて、順番に食べていただき、食べ終わった人からオープンスペースに入っていたいくスタイルにしました。

また、お雑煮はおもちが心配という方のために、おうどんバージョンもご用意し、安心して、召し上がっていただきました。

食事が全員終了したのは、13:00過ぎとなり、歓談、ゲーム(ババ抜き、ジジ抜き)を終え、14:30に再度、歓談、集合写真を終え、15:00で会を終えました。

昨年は来ていなかった方の参加もあり、また、他のメンバー、職員とかかわりのない、少ない方もいらしたため、一人ひとりが楽しめるよう、職員よりお声掛けをさせていただきました。

参加された方には毎年楽しみにしてくれている様子も見られたことから、来年も必要性を感じました。来年はコロナが収束し、みんなで一緒にお雑煮を食べることができることを祈るばかりです。

(奥山 葉月)



● 知的事業

■ うっちい散歩 アールブリュット立川2020取材 【9/4・9/18】

今年で6回目となるアールブリュット立川2020を取材してきました。新型コロナウイルスの影響がありながらも、充分な感染対策を行いながら開催していただき、出展されている作家の皆様やイベントを楽しみにしている私たちも、元気をもらうことができました。今回は、高松学習館、立川タクロスminiギャラリー、伊勢丹立川店で展示が行われました。各会場の様子をご紹介します。

→【高松学習館】展示期間：9/2～9/15

立川市内周辺の事業所からの出展や、アールブリュットお馴染みの作家さんの作品など、様々な作品が展示されていました。作品数



も非常に多く、アートを通じて地域の繋がりを感ずることができる展示となっており、どれも魅了される作品ばかりでした。

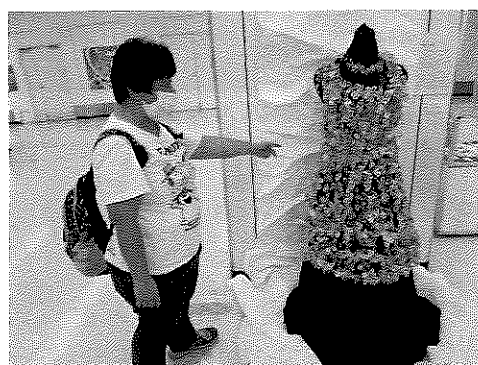
←【立川タクロスminiギャラリー】展示期間：9/17～9/30

多くの人の目にとまる場所での展示ということもあり、大きめの作品や色づかいの鮮やかな作品が展示されていました。



↓→【伊勢丹立川店】展示期間：9/16～9/21

昨年までの会場とは違い、7階催事場での展示となりました。広々とした解放感のある会場に、大きなものから繊細なもの、絵画や粘土など、様々な作品たちが並べられており、これまでのアールブリュットの歩みが大きな形となったことを実感することができました。今年は会場で初めて原画が販売されており、アートを仕事にして生きていく作家の皆様を応援したいという実行委員会の方々の思いが伝わってきました。また、今回も実行委員長の高松さんにご協力いただき、お話しを伺うことができました。インタビュー内容の一部をご紹介します。



Q. コロナ対策について、また、見に来てくれているお客さんはどんな方が多いか、教えてください。

A. 7階の広い会場を使って、密にならないようにしています。見に来てくれる人は、口コミを聞いた人、偶然来た人、毎年来ている人など、たくさんの方が来てくれています。

Q. 今年のアールブリュットのテーマはなんですか？

A. 「エコ」がテーマです。古新聞、プルタブ、切れ布、ダンボールなどを使って作られた作品が多く展示されています。少しでもエコを感じていただければいいなと思います。

内山さんの感想：会場が広くて、すてきなイラストがたくさんありました。動物もたくさんいました。実行委員長の高松さんにも、色々お話しがきけました。新しい絵も見たいです。見るだけでも楽しかったです！
(金井 春奈)

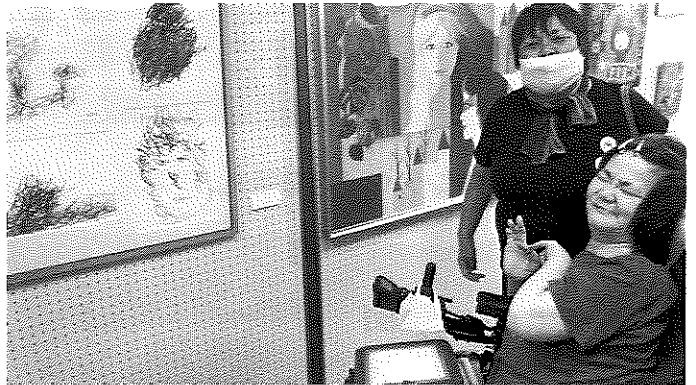
せいかつかいごじぎょうしょ
生活介護事業所 えんばわ

コロナ禍で外出企画はほとんど行わずにいましたが、年に一回の「アールブリュット立川」を見に行き、ぜひ、障害のあるアーティストである仲間を応援したいと思い、密にならない時間を選んで、見学してきました。

アール・ブリュット立川に出展しました&見てきました

アールブリュットに出展して

月曜利用メンバー 飯野さんは今回のアールブリュット立川にご自身で描かれた絵を出展しました。「絵を描いて、みんなに見せたことは人生2回目、額に入れることによってカッコよく見えたし、それを展覧できたことはやっぱりうれしかった。」との感想でした。



展覧を見学して/参加したメンバーからの感想

←2020年9月7日 立川市高松学習館

「飯野さんのやりたいことをこれからもずっとやり続けてほしい。」「いつか機会があったら、好きなアマビエの絵で参加したい。」

↓2020年9月16日 伊勢丹立川

「とてもすばらしい色使いで、目の保養になりました。」「みんな個性があってよかったです。自分も習字を書いて出展したいと思いました」



アールブリュット立川では、学習館、伊勢丹のみならず、多摩都市モノレールの駅などにもアートが展示されていました。障害のある人もない人も同じ空間でアートを見て、触れて、感じて、楽しむことをアールブリュット立川は体験させてくれました。

ぜひ、来年も開催していただき、えんばわより一人でも多くのアーティストを送りだせたら、そして、アートを通して、多くの方とつながることができたらとワクワクしています。

(奥山 葉月)



私たちの動き (10/1~1/31)

() は担当部門名 C I L ・ H L ・ はたらこ

【イベント・行事の実施】

(C I L)

- ・ 出前講座(2小, 3小, 8小, 9小, 幸小, 大山小, 立川国際中等教育学校)
- ・ U 2 5 プログラム(10/4)
- ・ 協力員スキルアップ研修(10/21, 11/25, 12/23, 1/20)
- ・ 視覚障害者交流会(10/24)
- ・ ランチタイム「新年ごあいさつ会」(1/2)
- ・ おすすめスポット取材(1/13)
- ・ ランチタイム「オンライン新年茶話会」(1/27)

(はたらこ)

- ・ お楽しみ会(12/4)

【連絡会・委員会・連携業務】

(C I L)

- ・ 障害のある人もない人も暮らしやすい立川を考える会厚生産業委員会との懇談会(10/1)
- ・ 立川市自立支援協議会運営会議(10/6)
- ・ 東京都相談支援従事者初任者研修(10/10, 15, 26, 27, 11/30, 1/6, 7)
- ・ 多摩療護園利用者・職員懇談会(10/14, 11/11)
- ・ りらく定例会(10/15, 11/19, 12/24, 1/21)
- ・ 立川市指定特定相談支援事業所連絡会(10/20)
- ・ 立川市障害者施策推進委員会(10/23)
- ・ 多摩療護園オンブズパーソン定例会(10/27, 11/17)
- ・ 障害のある人もない人も暮らしやすい立川を考える会定例会(10/29, 12/17)
- ・ 障害のある人もない人も暮らしやすい立川を考える会地区別懇談会(11/18)
- ・ 昭和記念公園バリアフリー調査報告会(12/25)

(H L)

- ・ 立川市障害者週間実行委員会(10/8, 11/19)
- ・ 地域生活支援拠点等事業コーディネーター会議(10/15, 11/19, 12/17)
- ・ 立川市自立支援協議会全体会(11/2)
- ・ 立川市自立支援協議会相談支援専門部会(11/10, 12/15)
- ・ 立川市障害者週間イベント(12/1~12/6)

(はたらこ)

- ・ 立川市自立支援協議会運営会議(10/6)
- ・ 立川市自立支援協議会就労部会(11/20)

【外部への見学・研修・イベント】

(C I L)

- ・ 東京都障害者虐待防止・権利擁護研修(10/22, 23)
- ・ バリアフリー障害当事者ステップアップ研修(10/29, 11/5, 12)
- ・ 東京都障害支援区分認定調査員研修(11/4, 5, 6)
- ・ 東京都障害者虐待防止研修(11/6)

- ・ 昭和記念公園バリアフリー調査

(11/6, 16, 27, 12/14)

- ・ J I L 関東ブロックネットワークキングパーティー(11/17)

- ・ D P I 障害者政策討論集会(11/21)

- ・ J I L 全国セミナー(12/14, 15, 16)

- ・ 東京都精神障害者地域移行促進事業研修(1/14)

【外部からの見学・研修】

(C I L)

- ・ 明星大学(10/24)

【講師派遣】

(C I L)

- ・ 目白大学(11/2)
- ・ 自立支援協議会就労支援専門部会学習会(11/20)
- ・ 明星大学(11/27)
- ・ 立教大学(1/18)

★ ご寄付等、ありがとうございました ★

- ・ 中野敏子 様 ・ 西山三枝子 様 ・ 匿名1名 (順不同)

特定非営利活動法人 自立生活センター・立川
〒190-0023 東京都立川市柴崎町2-10-16 材ビル2F
TEL : 042-525-0879 FAX : 042-521-3134
URL : <http://cilt.sakura.ne.jp/>
Mail : cilt@sh.rim.or.jp

